

絵本作家

武田 美穂さん



児童書専門店代表

横山真佐子さん



山口県子ども文庫連絡会代表

山本 安彦



那須正幹遺作絵本

『やくそく ぼくらはぜったい戦争しない』



『折り鶴の子どもたち』(PHP 研究所)、『ねんどの神様』『The End of the World』『ヒロシマ』三部作(以上ポプラ社)、『絵で読む広島原爆』(福音館書店)、『八月の髪かざり』(佼成出版社)、『少年たちの戦場』(新日本出版社)などを通して戦争の悲惨さや愚かさを訴え続けた児童文学作家 那須正幹さんが遺した詩「ばあちゃんの詩」から、武田美穂さんが絵を描き、『やくそく ぼくらはぜったい戦争しない』(ポプラ社)が生まれました。

2025年 **3月30日**  **KDDI 維新ホール** 2F 会議室 201C
13:30~15:30 (13:00 開場) JR 新山口駅北側 ☎ 083-902-6727

対象 小学生~大人
定員 50名 (要予約・先着順)
参加費 大人 1000円 子ども無料
※当日受付にて支払 ※事前申込なし 500円アップ
障害者手帳をお持ちの方は無料 ※介護者1名も含む
申込方法 電話かメールで以下をお知らせください
①代表者氏名 ②参加者全員の氏名(子どもは年齢も)
③電話番号 ④住所 ※メールの場合、件名を「ジョイントフェスタ」としてください
申込先 山口県子ども文庫連絡会
090-3636-2617 (山口)
083-232-7956 (こどもの広場)
home@kodomonohiroba.co.jp

武田美穂 『となりのせきのますだくん』で絵本につぼん賞、講談社出版文化賞・絵本賞受賞、『ふしぎのおうちはドキドキなのだ』で絵本につぼん賞、『すみっこのおばけ』で日本絵本賞読者賞・けんぶち絵本賞グランプリ、『おかあさん、げんきですか。』で日本絵本賞大賞・同読者賞を受賞。那須正幹の文に絵を描いたものに『ねんどの神さま』(ポプラ社)がある。
横山真佐子 29歳のときに児童書専門店「こどもの広場」を下関市に開店。子どもの読書推進を地域から支えてきた長年の活動に対し、第53回(2013)久留島武彦文化賞を授与された。
山本安彦 1980年「みやの子ども文庫」開設。1987年「山口県子ども文庫連絡会」、2000年「こどもと本ジョイントネット21・山口」(ジョイネット)設立。市立図書館長。司書歴46年。子ども文庫功労賞受賞。
※団体広報用や子どもゆめ基金への報告用にイベント中の写真や動画撮影を行います。広報用に、HPやSNS・刊行物に掲載することがあります。それ以外の目的では使用しません。なお、子どもゆめ基金への報告用に提出した個人情報(写真)は「(独)国立青少年教育推進機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規定」に基づき、子どもゆめ基金助成業務以外の目的には使用されません。ご了承ください。

主催: **山口県子ども文庫連絡会**

後援: 山口市、山口市教育委員会、こどもと本ジョイントネット21・山口、児童書専門店こどもの広場、小郡図書館友の会鉢の子、手づくり絵本の会